

# 初任者研修道徳指導案

<b>資料名</b>	みいちゃん	<b>出典</b>	平成15年度 福岡市弁論大会集
<b>主題名</b>	自他の命の尊重	<b>内容項目</b>	3 - (2)
<b>日時</b>	平成19年	<b>使用教室</b>	1年 教室

## ○ 主題設定の理由

### ・主題観

最近のニュースを見ると、あまりに他者の命を軽視する風潮がある。また、現代はペットブームで、簡単にペットを飼い、飽きるとペットを捨てるという現実もある。これら原因にはテレビや雑誌、インターネットなどの情報の氾濫や、ゲームによるバーチャルな死が身近であること、核家族化による他者に対する無関心や身近な人の死を体験しないこと等があげられる。また、ペットは飼い始めこそ大切にすが、飽きたら捨てるという人々も少なくない。しかし、生命はかけがいのない大切なものであり、全てのものに優先して大切にしなければならない。このような時代だから生と死を真剣に見つめることは重要である。

### ・生徒観

本学級の生徒は全体的におとなしく、授業中の発言も活発でない。優等生的生徒が多いように見えるが、自己中心的で他者の立場になって考えることができない生徒もいる。

学級の全体では14人がペットを飼い、以前飼っていた生徒を含めると29人に及ぶ。また、そのほとんどがペットの死を体験し、その時の気持ちからは命を大切にする意識が高いものを感じるものの、きちんと御世話をしていたとは言い難い生徒もいる。

### ・資料観（指導観）

本資料は福岡市弁論大会の生徒作文である。主人公は拾ってきた猫の安楽死の選択を迫られる。このことを通して主人公自身が生と死を見つめることとなる。主人公の行動を通して、命について考え、自他の命を大切にする心情を身につけさせたい。安楽死については、その是非は私にはわからない。このことも含めて子ども達と共に考えてみたい。

また、命については総合的な学習の時間や様々な学校教育場面で継続的に考える場面を設定し、継続的に指導や支援をしていきたい。

<b>ねらい</b>	・命（生と死）について考え、かけがいのない自他の命を尊重する心情を育てる。
------------	---------------------------------------

<b>資料準備物</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面絵（猫の写真など）</li> <li>・生徒のペットの写真</li> <li>・ぬいぐるみの猫</li> <li>・掲示物「小さなひとみのメッセージ」</li> </ul>
--------------	--

<b>板書</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">みいちゃんその後</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">安楽死させない。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">苦しそうな猫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">安楽死させる。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">猫を抱きかかえる弟</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">どうあなたは捨てますか</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">みいちゃん</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">その他</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">あなたはどうする</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">同じ場所に捨てる。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">家 家族と相談 につれて返る</div> </div>
-----------	---

○展開

	学習内容、 発問・指示 (生徒の反応)	指導・支援の工夫	配時
導入	1 子ども達の家の子のペットの写真をつかって、本時の方向付けをする。 今日は、ペット紹介をします。 飼い主はペットを紹介してください。	・生徒の家の子のペットの実態 ※生徒の家の子のペットの写真を紹介する。 ・ペットを飼って良かったことや困ったことを発表させる。	10分
展開	2 資料を三つの場面に分けて提示し、次の点について考えさせる。 <b>第1の場面</b> 死にそうな捨て猫を見て ①もし、あなただったらどうしますか？それはどんな気持ちからですか？ ・見捨てる 家に犬がいるからしかたない。かわいそうだけど ・見捨てない 何とかして生かしたい。	・資料は3場面わけ、教師が読んで各場面を考えさせる。 ※生徒には資料を配付しない。  ・教室を道路に見立て、(ぬいぐるみ)の猫をどうするか、実際に行動させる。また、その時の気持ちを考えさせる。	5分
	<b>第2の場面</b> 安楽死か否かの選択 ②もし、あなただったらどうしますか？それはどんな気持ちからですか？ <b>安楽死させる</b> ・このままでは生きていても苦しいだけ。 ・どうせ死ぬなら、早く楽にさせたい。	・ネームプレートを準備して自分の行動にネームを貼り付けさせる。また、その時の気持ちを考えさせる。 ※発問①②も行動より、その時の気持ちに比重を置きたい。 ・安楽死か否かの選択を通して、生と死について考えさせたい。	15分
	<b>安楽死させない</b> ・何とかして生かしたい。 ・生きようとする命を人間が絶つことは許せない。 ・自分ができることを全てしてあげたい。	<b>安楽死肯定</b> の生徒には、人間が死を操作していいのか切り返したい。 <b>安楽死否定</b> の生徒には、障害をもったままの猫を責任をもって最後まで飼うことができるか？	10分
終末	3 後半資料を読み、日頃の自分たちの様子を振り返る。 事前の命についてのアンケートから、生と死について日頃どのように考えているのでしょうか？ 4 本時のまとめ 「小さな瞳のメッセージ」を見せ、現実に動物が殺処分されていることを、示してみいちゃんの場合と対比させて、命について考えたことを発表させる。	・生徒にとって生と死は、情報として身近であるが、体験的には身近でない。しかし、一度真剣に考えて欲しいと訴えたい。 ・犬18万1,858、猫12万2,260匹が殺処分されていることを伝え、生と死について考えさせたい。また、今後も生徒と共に考えていきたい。	10分
関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の凶悪犯罪について</li> <li>・道徳「生きてます15歳」家族愛4-(6)6月</li> <li>・道徳「走れ花子」思いやり2-(2)10月</li> <li>・福祉・ボランティア体験学習 ➡ 本時 ➡ 福祉・ボランティア活動 (高齢者福祉・障害者福祉など) (学校の企画でなく、自らの活動)</li> <li>・授業後、生徒の感想を返却するとき、心のノート (P74~P77) を読む。</li> </ul>		



み

い

ち

ゃ

ん

も し、 あ なた た が お  
姉 ち や ん だ っ た が お  
捨 て 猫 を ど う し ま  
す か ？  
そ は ど ん な 気 持  
ち か ら だ す か ？

あなただんならどう  
しますか？  
それはどんな気持ち  
ですか？

**安楽死  
させる。**

**安楽死  
させない。**

**その他**

**もう一度  
捨てる。**

# ペットを飼いたい アンケート

2年 組 番 氏名

① あなたの家にペットがいますか？

※金魚なども含む。

○ いる		○ いない		
		A 以前いた	B いない	C 欲しいが飼えない
○ペットの種類	名前	○ペットの種類	名前	○もし飼えるなら どんな動物が欲しいですか？ ・ ・ ・ ・
○誰が御世話していますか？				

② ペットを飼ってよかったことや困ったことを書いてください。

③ あなたの家のペットが亡くなったことがありますか？

その時どんな気持ちでしたか？



# 年 組ペットの関するアンケート

40人中36人回答

## 1. 現在ペットを飼っている。 15人

<input type="radio"/> 犬	3人			
<input type="radio"/> 猫	2人			
<input type="radio"/> ハムスター	4人			
<input type="radio"/> カメ	3人			
<input type="radio"/> 金魚	3人	メダカ	2人	熱帯魚1人
<input type="radio"/> 鳥	1人			

## 2. 以前ペットを飼っていた 14人

(現在飼っている人を除く)

ペットを飼ってる。飼ったことがある。  
合計 31人

## 3. ほしいが飼えない 2人

## 4. ペットを飼って

よかったこと	困ったこと
<input type="radio"/> 楽しい	<input type="radio"/> 夜ほえる。
<input type="radio"/> エサをやるのが楽しい	<input type="radio"/> インターホンにほえる
<input type="radio"/> かわいい。	<input type="radio"/> 水槽の掃除
<input type="radio"/> 心が安らぐ	<input type="radio"/> 世話
<input type="radio"/> 家が明るくなる	<input type="radio"/> うるさい
<input type="radio"/> おもしろい	
<input type="radio"/> 落ち込んでいるとき、よっ てくるとうれしくなる。	

## 5. ペットが亡くなった経験 24人

その時の気持ちは
<input type="radio"/> 悲しかった
<input type="radio"/> 嫌だった。
<input type="radio"/> 自分の世話不足に悔いが残った。
<input type="radio"/> 泣いた
<input type="radio"/> おばあちゃんが泣いたのが、意外だった。